

議事録（要点筆記）

会議の名称	令和6年度第3回新城市男女共同参画審議会
開催日時	令和7年1月21日（火）13:00～13:40
開催場所	新城市役所 東庁舎会議室2
委員出席者	鄭会長、原田副会長、菅沼委員、片桐委員、古田委員、三宅委員、 中谷委員 欠席者：古市委員、中村委員
事務局	吉林部長、牧野課長、伊豫田係長、青木主事、野本主事
会議の次第	令和6年度第3回新城市男女共同参画審議会 1 開会 (1) 会長あいさつ 2 協議事項 (1) 新城市の男女共同参画施策について（答申案） 3 報告事項 (1) 新城市パートナープラン（第2次新城市男女共同参画プラン）後期計画策定に係る意識調査結果について 4 その他 (1) 委嘱について (2) 今後のスケジュール
会議資料	・新城市の男女共同参画施策について（答申案） ・新城市男女共同参画に関する市民意識調査結果報告書（令和7年3月新城市）
議事録の作成方法	要点筆記
議事録署名人	菅沼委員、三宅委員

1 開会

(1) 会長あいさつ

2 協議事項

事務局	新城市男女共同参画施策について（答申）について各委員からの意見を参考に答申案を作成した旨を説明。
委員	パートナープランには「施策の方向性」と記載があり、今回の答申案については「施策の方向」との記載がある。方向性と方向と分けた意図はあるのか。
事務局	分けた意図はない。パートナープランに従い、答申案についても「方向性」とし統一を図る。
委員	産褥鬱という言葉が聞きなれない言葉であるので修正したほうがよいのではないか。
会長	産後鬱という言葉に変更することでよいか。
委員	（反対意見なしで合意）
副会長	<p>ワークライフバランスという言葉ですが、この時代の表現としては古いのではないか。ワークインライフでもよいのではないか。今すぐに直さなくても良いが、次の計画のときに、もう少し視点を変えてやってもらいたいと思う。</p> <p>時間を短くするとか早く帰れとか職場でよく言うが、実際早く帰れるわけがないという状況であり、仕事の質とか量とかが全く変わらない。むしろ1人当たりの仕事量は増えている。このワークライフバランスをやれと言ってもこれも無理な状況がどんどん続いていく。本当にいいのかというふうに思う。</p> <p>ワークライフバランスをやるためには、やっぱり仕事の精選。例えば、一生懸命やってくださってる課ごとの様々な諸活動やイベント、あれを精選してまとめて統合して、いけば財政上も人員的に余裕をもってやれるであろう。</p> <p>仕事量をいかにして減らすかっていうところを、環境を整えないと、ワークライフバランスなんてできるわけないので、そこを整備するっていう意味でのワークライフバランスの推進。そういう視点を変えてやっていかないといつまでたってもこれワークライフバランスは、不可能かなというふうに思います。</p>
会長	それぞれの担当の職員が仕事をいっぱいやっているが、事業やイベントが増えると仕事は増える。減らすべきところは減らして必要性が低くなったところは事業仕分けをするのが望ましい。量じゃなくて、質で勝負する新城市を目指していただきたいと思います。現場の方たちが幸せじゃないのに街全体を幸せにすることって非常に難しい話だと思いますので、生産性っていうところで今後考えて1つの視点を入れていただきたい。

3 報告事項

事務局	新城市パートナープラン（第2次新城市男女共同参画プラン）後期計画策定に係る市民意識調査の結果を報告。主に平成22年以降意識調査アンケートの回収率が減少している旨及び東三河各市の意識調査の回収率の情報提供。
会長	回収率が下がっているってということが何を意味するのかを考えてみて、一定程度社会全体において男女共同参画が広まっているので意識が薄れて人々の回答率が下がったのか、または新城市全体において男女参画が進んだからか。それとも本当にそもそも関心がなくなっているのかという辺りの分析が非常に難しいですが、6年後にアンケートを実施するときにはその観点を入れていただいて、何が原因なのかって言うことをぜひ追記していただきたいと思います。

4 その他

事務局	<p>本日委員の皆さんからいただいた御意見を盛り込んだ答申書（案）に修正します。修正内容が軽微なため、確認は会長、副会長に一任ということで皆さんご了承いただけるでしょうか。（委員からの了承を得る）</p> <p>答申ですが、2月10日月曜日の11時から政策会議室で行います。</p> <p>当日は会長及び副会長に出席をお願いいたします。委員の皆様の出席については任意となります。</p> <p>今回の審議会が今年度最後の審議会となります。任期の件につきましては、前回の審議会でお話した通り、パートナープランの後期計画策定に伴い、任期3月31日で一度清算し、4月に再度任命する予定でございます。引き続き御協力いただきますようお願いいたします。</p>
-----	--

片桐委員が人権の研修に参加した際に「男女共同参画の視点からの防災」という資料を入手したため、情報提供をいただく。

菅沼委員より、パートナープランの取組が90個以上あるがこのままでは取り組みが多すぎて取り組みを作るだけで終わってしまう可能性がある旨を示唆。この答申を作るためだけのものにならないようにとの意見があった。

会長が今年度で退任する旨のあいさつ。

議事録署名人

議事録署名人

会 長